



下野市立古山小学校
校長室インフォメーション
令和元年 NO. 1
令和元年9月5日
発行責任者 梶原 和子

古考える葦



校長の梶原和子です。昨年の3月中旬から入院することになり、長い間学校を不在にしてしまい大変ご迷惑をおかけしました。校長不在で不安な思いをなされた保護者の方々もたくさんいらっしゃるのではないかと本当に心苦しく思っています。入院している間に時代も平成から令和に変わりました。本校も創立50周年を迎え、より一層の飛躍が期待されます。

おかげさまで私も9月から通常勤務できるようになりました。これから今年度残りの期間、児童の教育活動の充実と本校の飛躍に向けて、微力ながら力をつくしたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

さて、始まる前は長いと思った夏休みもあっという間に終わってしまいました。児童、保護者の皆さんはリフレッシュできましたでしょうか。夏休みが終わってがっかりしている子どもも少なくないのではないのでしょうか。早めに生活のリズムを取り戻し、これまで以上元気に登校してくれることを願っています。また、夏休み中は事故もトラブルもなく、9月2日には少し日焼けした元気な笑顔の子どもたちに会え、嬉しく思っています。

まだまだ暑い日が続いていますが、それでも日差しは少しずつ秋めいた感じになってきました。勉強や運動をするのには良い季節です。健康に留意しながら、じっくりと計画的に学習に取り組んでほしいと思います。

さて、毎年第4、5、6学年対象に実施されている、「とちぎっ子学習状況調査」「全国学力・学習状況調査」の結果が県教委より送付されましたので、本校の状況について速報として今回は4、5年生についてお知らせいたします（6年生は次号でご報告します）。この結果をきちんと分析し、課題を改善し本校児童の学力向上につなげていけるよう、指導の工夫改善に努めて参ります。

【学力調査結果】（栃木県平均正答率との比較）

- 実施日 平成31年4月18日（木） ○実施学年 第4、5、6学年
- 実施教科 国語、算数、理科（4、5年のみ）
- ◎ 上回っている（5ポイント以上） ○ やや上回っている（5ポイント未満）
- － 同程度（±1ポイント程度） ▽ 下回っている



【4年生】

国語		算数		理科	
総合	◎	総合	◎	総合	◎
基礎	◎	基礎	◎	基礎	◎
活用	◎	活用	◎	活用	◎
話すこと 聞くこと	◎	数と計算	◎	物質 エネルギー	◎
書くこと	◎	量と測定	◎		
読むこと	◎	図形	◎	生命	◎
※伝国	◎	数量関係	◎	地球	◎

【5年生】

国語		算数		理科	
総合	◎	総合	◎	総合	◎
基礎	◎	基礎	◎	基礎	◎
活用	◎	活用	◎	活用	◎
話すこと 聞くこと	◎	数と計算	◎	物質 エネルギー	◎
書くこと	◎	量と測定	◎		
読むこと	－	図形	◎	生命	○
※伝国	◎	数量関係	◎	地球	○

※伝国・・・伝統的な言語文化と国語の特質に関する問題

＜傾向と課題＞

4年生、5年生とも調査が行われた各教科において、大変良好な結果でした。しかしこの結果に満足せず授業はもちろんですが、計画的・継続的な自主学習の実施を各ご家庭でもお願いいたします。

4年生

- 国語については、基礎も活用も大変良好な結果でした。特に「問題の意図を正しく理解して回答すること」や「条件に合った作文を書く」ことについて、よくできていました。しかし、「長文を読み取る力」「漢字やローマ字、国語辞典の使い方」等に課題が残りました。作文に関しても、書く条件を満たせない子どもも少なくありませんので、今後も引き続き改善に向けて指導して参ります。
- 算数については、3桁までの足し算、引き算「答えが3桁までのかけ算」「答えが1桁のわり算」

図形についての知識や技能」について、優れた力を発揮しました。しかしその反面、「かけ算の筆算の意味」「文章問題の数式化」「記述問題」になると、無解答率も増加しています。この部分に関しては、繰り返し授業でも取り組む必要があると考えています。宿題等でも意図的に行きたいと思いますので、ご協力をお願いします。

- 理科については、実体験や生活と結び付けて考えることができていること、「理科用語」を用いた説明、「電気」の単元については課題がありますので、日常生活で起こる様々な事象に関心を持たせることや、用語を適切に使って論理的に項立てして説明することを意図的に行う等の指導を工夫して行いたいと思います。

5年生

- 国語については、「指定された長さで文章を書く」「書こうとするものの中心を明確にして文章を書く」こと等よくできていました。しかし、「文章を速やかかつ正確に読み取る」「修飾語の意味」「段落」等において、課題が残る結果となりました。これらの改善には読書がとても効果的です。ぜひ、ご家庭でも読書の習慣をつけるようご協力をお願いします。
- 算数については、「小数に関わる問題」「記述式の問題」に課題が残りました。繰り返し問題を解き、計算の過程をしっかりと書いてよく見直させること、公式の理解に努めること等の学習が必要です。
- 理科については、「光、電気、動物のからだのつくりと運動」の内容において、学習内容の理解が不足している傾向が見られました。記述式の問題では無解答の児童も散見しました。実験器具の使い方も改善が必要です。実験の指導等授業改善をしていきますが、児童自身でも教科書をよく見直し正しく理解するように努めほしいと思います。

ありがとうございました！！

P T A親子奉仕作業を8月31日（土）、夏休み最後の土曜日に行いました。前日からP T A整備委員の方々を中心となって準備を進めてくださったおかげで、当日の作業はとても効率的に行うことができました。ありがとうございました。



今回は1組が学校、2、3組が姿川、整備委員の方々には池の清掃という割り当てで作業を行いました。比較的作業を行いやすい気温でしたのでよかったです。また、野球部の方々には、バックネット裏付近の側溝の清掃をボランティアで行っていただき、大変感謝しております。多くの保護者、児童に参加していただいたおかげで、さっぱりとした環境で児童を迎えることができました。

こんなときどうしますか？

夏休みが終わりに近づくと、宿題が終わっていなかったり、朝早く起きなくてはならなくなったりするため、憂鬱な気持ちになりがちなお子さんも結構います。保護者の皆さんもそんな気持ちになった記憶ありませんか？そのため、9月は学校へ行き渋る児童が増える傾向にあります。そこで、この場をお借りして、「夏休み明け 不登校3つのサイン」とその対策についてお伝えします。

- ①朝、起きられない
- ②朝、頭痛がしたりおなかが痛かったりする
- ③「学校に行きたくない」と子どもから言う

「先生が怖い」「友だちと上手いいかない」「給食が苦手」「勉強（授業）が嫌い」など、いろいろな子どもごとに（また、子どもなりに）理由はあると思います。特に低学年の児童などは、子ども自身もその理由がわからないことも多いでしょう。また、最近は「ハイリーセンシティブチャイルド（HSC）」という、感受性や共感性が高く、刺激に敏感すぎるため、新しい環境や集団生活に慣れるのに時間がかかる子どものタイプも注目されるようになっています。①～③のような場合が生じたときは、**◇無理せず休んでもよい、ゆっくりと待つ**、**◇家で一人で集中してやっていることなどは、とことんやらせる**、**◇具体的な問題がわかったら、先生に相談する⇒「先生には言っておいたよ」と安心させる**・・・などの対応が一般的です。そして、子どもの話をゆっくりじっくり聞いてください。実際には日々の忙しさや、「どうしよう」という焦りでなかなかできないことかもしれません。でも、ここで慌てずじっくり構えて待つということが一番なのではないでしょうか。

いつもとちょっと違うな感じたとき、困ったときは、遠慮せず学校まで相談してください。



おめでとうございます！！

本校は、今年度おめでたラッシュです。石川 愛先生が5月に、内野 早織先生が7月に、鈴木 仁美先生が8月に、みんな可愛らしい女の子を出産されました。本当におめでとうございます！ 元気に育つことをお祈りしています。



※ 児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載していますのでぜひご覧下さい。
学校HPアドレス http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/koyama/

こちらからもご覧になれます



